

## データシート

# ARUBA NETEDIT

ネットワーク・スイッチの構成、監視および  
トラブルシューティング

ネットワーク管理者は、IoT や BYOD によってもたらされるデバイスの急増や、場所を問わず、あらゆるユーザーに信頼性の高いセキュアなモバイルアクセスを提供する必要性など、さまざまな課題に直面しています。進化するビジネス要件をサポートするために常に変化が求められているという問題もあります。ノンストップで追加、移動、変更を行うと、多くの場合、人手不足の IT チームの負担になる可能性があり、オペレーターのエラーのリスクが増加し、パフォーマンスの問題やダウンタイムの発生に繋がります。

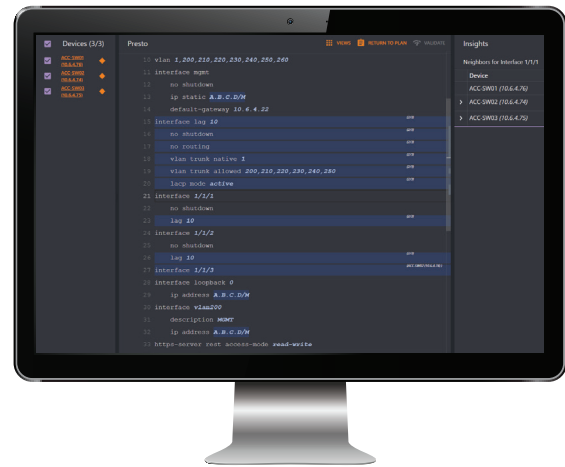
これらの課題に対応するため、Aruba NetEdit は自動化とアナリティクスで IT チームの複数スイッチ設定の支援を行い、導入の一貫性、適合性、エラーがないことを保証します。自動化ワークフローは、オペレーターに使いやすい CLI のようなインターフェイスを提供することで、プログラミングのオーバーヘッドなしに変更を可能にします。これにより、IT チームは、エンド・ツー・エンドのサービス展開をスムーズにおこない、ネットワーク全体の変更を迅速に開始し、ネットワークの更新後にポリシーに適合した更新が可能です。

Aruba ネットワーク解析エンジン (NAE) が提供する組み込み型アナリティクスと連携し、このインテリジェントな支援と継続的な検証により、ネットワーク全体での設定変更が一貫してポリシーに適合するようにします。これにより、ネットワーク全体の健全性とセキュリティが向上します。

## NETEDIT の仕組み

まず、オペレーターは NetEdit のウェブベースのユーザー・インターフェイス内に適切なサブネットを入力します。NetEdit は、各 Aruba CX スイッチを自動的に検出して設定ファイルをインポートします。NetEdit は新しいスイッチを認識すると、スイッチの設定、ハードウェア・インベントリ、および隣接情報を取得します。

管理インターフェイスを使用すると、オペレーターは各ネットワークデバイスの状態を簡単に判断できます。カスタマイズ可能なアプリケーションダッシュボードを使用すると、最も関心の高いメトリクスをすばやく表示できます。[Network] タブでは、導入されたスイッチの赤 / 黄 / 緑のステータスと共に、ネットワークの健全性の詳細を表示できます。



## 主な特長

- ・ 一貫性とコンプライアンスのための検証機能を備えたインテリジェントでエラーのない設定作業
- ・ 複数のデバイスの同時表示と編集
- ・ 企業のコンプライアンスとネットワーク設計用にカスタマイズされた検証テスト
- ・ プログラミングを行わずに自動化された設定作業の実施
- ・ 問題解決を迅速におこなうための高度な分析とトラブルシューティング
- ・ 設定作業の入力を支援する CLI ライクなインターフェイス - 新しいスキルは不要

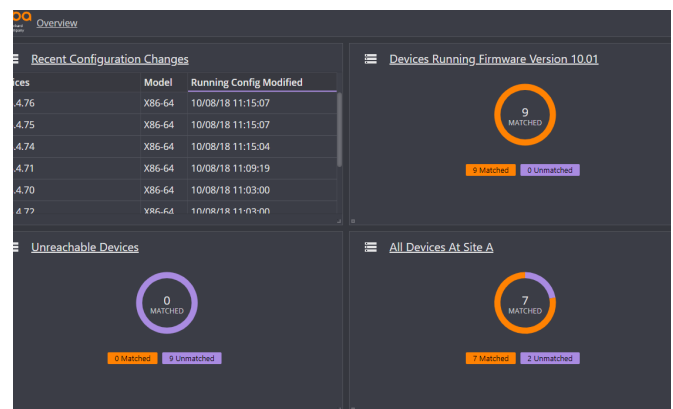


図 1 : Aruba NetEdit ダッシュボード

NetEdit は、Open Virtualization Application (OVA) 仮想マシン (VMware の ESXi など) としてサーバー上で動作します。AOS-CX オペレーティング・システムが動作する次のスイッチがサポートされています。

- ・ Aruba CX 6000 スイッチ・シリーズ
- ・ Aruba CX 8000 スイッチ・シリーズ

## 主な機能

NetEdit は、スイッチのライフサイクル全体にわたって自動化とアナリティクスを提供し、一般的な管理タスクを大幅に簡素化し、ネットワーク・オペレーターのエクスペリエンスを向上させます。次の機能により、エラーのない導入が可能になります。

### ダイナミックネットワーク・トポロジー

GUI 上の [Network] タブでは、Aruba CX スイッチや Aruba アクセス・ポイント、サードパーティのスイッチなど、組織のネットワーク・トポロジーの全体像を把握できます。

[Health Summary] パネルには、セキュリティ・ポリシー違反などの矛盾やエラーが発生しているデバイスなど、Aruba スイッチの健全性に関するリアルタイムのスナップショットが表示されます。

ネットワークの動的でカスタマイズされたビューは、オペレーターが選択したレイヤーに基づいて表示されます。これらのレイヤーは、パフォーマンスやコンプライアンスの問題に影響を与えているものなど、Aruba CX デバイスのステータスや設定をより可視化します。サポートされるレイヤーには、アプリケーション、クライアント・サービス、デバイス、ルーティング、ブリッジング、セグメンテーション、および「その他」(特定のレイヤーに結びつかない NAE エージェントを含む)が含まれます。

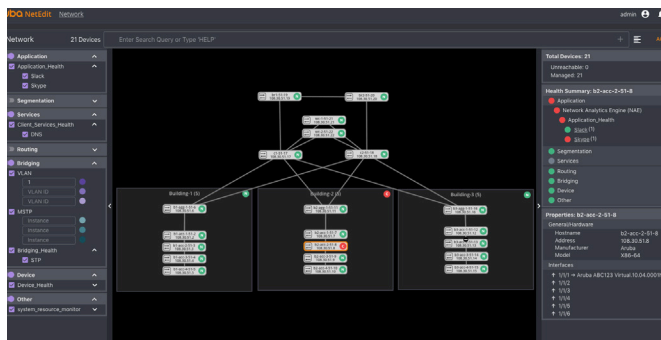


図 2 : NetEdit の [Network] タブで Skype アプリケーションの問題が強調表示される

管理をシンプルにするために、NetEdit は Link Layer Discovery Protocol (LLDP) を使用して、Aruba CX スイッチ用の REST API と Aruba 無線およびサードパーティのデバイスには SNMP を使用します。新たに接続されたスイッチは、[Network] タブに自動的に表示されます。

### マルチデバイス編集

ネットワークの変更に対応するために、NetEdit は各設定ファイルの詳細を保持して、複数のデバイスの設定を一度に簡単に変更できます。例えば、関連するすべてのスイッチの NTP または RADIUS サーバーのアドレスを一元的に設定したり、アクセス・スイッチのみに ACL エントリーを設定できます。

NetEdit は、オペレーターの CLI に関する既存の知識も活用するため、再トレーニングや新しいスキルは必要ありません。コマンドの補完、構文の強調表示、入力の確認などの支援機能により、コマンドの入力にかかる時間が大幅に短縮されます。

変更作業をさらに効率化するために、ネットワーク・チームは、少数のプロンプト駆動型のコマンドのみを使用して、スイッチからスイッチへの仮想拡張 LAN (VXLAN) などの一般的な設定を簡単に行うことができます。

### 自動検証によるワンクリック導入

NetEdit を使用すると、複数のスイッチで導入 (またはロールバック) を実施し、変更後のスイッチの正しい動作を検証できます。例えば、変更をより広範囲に導入する前に変更が正しく機能しているかどうかを判断したり、問題が発生した場合に変更前の状態に戻す事ができます。

導入時に、NetEdit は変更の前後にネットワークおよびサービスの状態を自動的に収集し、その違いをインテリジェントに表示します。これにより、決められた時間内に変更を保持するかロールバックするかを決定できます。

### 継続的な検証

定期的にもニターすることで、企業ポリシーと規制ポリシーの両方を適合するようにします。設定変更のチェックは、スイッチの CLI や Ansible など NetEdit の外部で行われた変更を含めて行われます。

例えば、すべての管理 IP アドレスが管理サブネットワーク上にあること、または OSPF を実行しているすべてのルーターが adjacency change をロギングしていることを簡単に検証できます。検証テストは、構成コマンドに関する既存の知識に基づいて簡単にカスタマイズおよび拡張できます。

### 完全な監査証跡

NetEdit は、すべてのハードウェアとソフトウェアのバージョン、およびその他の変更を記録します。その後、すべての変更または変更のグループを検索して表示できます。

これにより、NetEdit またはその他の方法で変更が行われたかどうかに関係なく、自動バージョン管理機能を使用してハードウェア、ソフトウェア、および設定に対する変更を追跡できます。また、スイッチの場所や変更日などの要因に基づいて、これらのロールバックを選択的におこなえます。

### 監視とトラブルシューティング

Aruba ネットワーク解析エンジン (NAE) との連携により、オペレーターは高度なネットワーク・アナリティクスと自動化されたトラブルシューティング機能にリアルタイムでアクセスし、ネットワークに影響を与える問題の迅速な検出と解決を可能にします。

NAE は、Python スクリプトに基づくエージェントを介してスイッチのテレメトリを内部に収集します。オペレーターは、特定のトラフィックまたは関心のあるイベントを監視および収集するルールを事前に設定できます。例としては、設定したいしきい値を超える CPU 使用率の監視、設定の不一致、OSPF 到達可能性の問題などがあります。

NetEdit は NAE エージェントのステータスをサブスクライブし、関心のある問題が発生したときにデータを収集します。ServiceNow、TOPdesk、Slack などのツールとの統合により、迅速な通知が提供され、オペレーターに対策を実行するように促します。

NetEdit をクリックすると、[Network] タブで通知条件に一致するデバイスが強調表示されます。ここから、オペレーターは影響を受けるデバイスまたはサービスにすばやくアクセスし、イベントが発生した時刻と関連する完全な診断詳細を使用してトラブルシューティングを開始できます。

このようにして、NetEdit と NAE は、トラブルシューティング時にオペレーターに負担をかける手動タスクの数を大幅に削減します。また、ネットワーク全体でのテレメトリを収集するプロセスによるネットワークへの負荷はわずかなので、パフォーマンスに影響が出ることはありません。

### Aruba CX モバイル・アプリからの自動インポート

管理をシンプルにするために、Aruba CX スwitchのインストール用に、iOS と Android 向けにモバイル・アプリを提供しています。Aruba CX モバイル・アプリ を介してネットワークに接続されているスイッチは、ポリシーの適合性検証のために NetEdit に自動的にインポートされます。

### 追加情報

以下の NetEdit ソリューション コンポーネントに関するガイドラインについては、Aruba 営業担当者にお問い合わせください。

- ・ サポートおよび推奨される VMware バージョン
- ・ サーバーの仕様

Aruba NetEdit は、[Aruba Service Portal](#) から入手できます。NetEdit ソフトウェアをダウンロードする際には、Aruba Airheads コミュニティにアクセスし、[Airheads アカウントを作成する](#)必要があります。このポータルからソフトウェアをダウンロードするためのリンクは[こちら](#)です。

### ドキュメンテーション

NetEdit のマニュアルを含むドキュメンテーションについては、[Aruba サポート・センター](#)の [Documentation] タブを参照してください。

## 注文情報

NetEdit は現在、最大 25 のノード ( ネットワーク・スイッチ ) に対してトライアルで利用できます。Aruba サポート・サービスの 1 年間および 3 年間のサブスクリプションのライセンスオプションもあります。

注文情報	
パーツ・ナンバー	説明
N/A	Aruba NetEdit 25 ノードのトライアル
JL639AAE	Aruba NetEdit Single Node 1yr Sub E-License
JL640AAE	Aruba NetEdit Single Node 3yr Sub E-License

1 年または 3 年のサブスクリプションを選択します。